

2017年11月1日

SB エナジー株式会社

三菱 UFJ リース株式会社

北海道八雲町で国内最大規模の 蓄電池併設型メガソーラー発電所を建設

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 茂基、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）と三菱 UFJ リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳井 隆博、以下「三菱 UFJ リース」）は、北海道二世郡八雲町において大規模太陽光発電所（メガソーラー）「ソフトバンク八雲ソーラーパーク」を設置します。発電所は 2018 年 4 月中の着工を予定しており、2020 年度中の運転開始を目指します。

「ソフトバンク八雲ソーラーパーク」は太平洋汽船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三木 賢一）および有限会社太平洋農場（本社：北海道二世郡、取締役社長：古川 尚宏）が所有する北海道二世郡八雲町の約 132 万㎡（約 132 ha）の土地に設置される、出力規模が約 10 万 2,300kW（約 102.3MW）、年間予想発電量が一般家庭約 2 万 7,967 世帯分の年間電力消費量に相当する約 1 億 68 万 2,000kWh／年の発電を行うメガソーラー発電所で、SB エナジーと三菱 UFJ リースが設立する「北海道八雲ソーラーパーク合同会社」が運営します。

「ソフトバンク八雲ソーラーパーク」は、北海道電力株式会社が 2015 年 4 月に公表した「太陽光発電設備の出力変動緩和対策に関する技術要件※」に基づいて、蓄電容量約 2 万 7,000kWh（約 27.0MWh）の大容量リチウムイオン電池を併設しており、蓄電池を併設する太陽光発電所としては出力規模が国内最大級の発電所です。また、本発電所は指定電気事業者制度による出力制御無補償の条件の下でプロジェクトファイナンスを組成します。

SB エナジーは、今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、メガソーラーをはじめとする自然エネルギー発電所の建設と運営を推進します。

三菱 UFJ リースは、環境・エネルギー事業を重点戦略分野と位置付け、環境・エネルギー分野におけるさまざまなお客さまのニーズに応える取り組みを、積極的に推進します。

※ 北海道電力株式会社が太陽光発電事業者に求めている技術要件。太陽光発電設備に蓄電池などを併設して出力を制御することで、出力の急峻な変動緩和対策の導入を太陽光発電事業者に求めるもの。

■ 「ソフトバンク八雲ソーラーパーク」の概要

所在地	北海道二世郡八雲町山崎および花浦
敷地面積	約 132 万㎡（約 132 ha）
出力規模（太陽電池容量）	約 10 万 2,300kW（約 102.3MW）
年間予想発電量（初年度）	約 1 億 68 万 2,000kWh／年（約 10 万 682MWh／年） 一般家庭約 2 万 7,967 世帯分の年間電力消費量に相当 ※1 世帯当たり 3,600kWh／年で算出
運転開始	2020 年度中

■ 「北海道八雲ソーラーパーク合同会社」の概要

正式名称	北海道八雲ソーラーパーク合同会社
所在地	東京都港区東新橋 1-9-2
設立年月日	2017年1月4日
出資構成	SB エナジー株式会社 : 50% 三菱 UFJ リース株式会社 : 50%

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。